



平成27年度

すさき野外博物館

しんじょう

2016. 03. 02
すさき・かわうそ
クラブ会報

—No.18—

発行：すさき・
かわうそクラ
ブ事務局

干潟の生きもの

8月29日（土）桐間の干潟で観察を行いました。市外からの参加もあり、親子連れの姿が多数でした。

トレイを持って干潟に入り、カニやハゼを捕まえ、絶滅危惧種のシオマネキはたくさん姿を見ることができました。

また、「カニのオス、メスの判断は、おなかの三角か半月形か」「カニのハサミの大きさはオス、メスに関係しない」など、子供たちが興味を示すような話がたくさん聞けました。

カンムリカイツブリの湾

12月5日（土）巡航船に乗り、横浪、今川内に鳥の観察に行きました。

お目当てのカンムリカイツブリは1羽しか見ることができず、ゴイサギ等の鳥を観察しました。講師から、「渡って来る時期が変わったのかもしれない」との見解があり

平成 28 年度すさき野外博物館

以下のメニューで実施予定です。ぜひご参加ください。

- ① 5/21 サギのねぐらと磯の観察会
- ② 6/4 ホタルとカエルのタベ
- ③ 8/13 ツバメのねぐら
- ④ 1/21 カモの休み場



※日程等は変更する可能性があります。



ました。

日本獺のお話inしんじょう君展



☆谷地森先生としんじょう君。
ニホンカワウソの写真で講義。

ニホンカワウソのお話

1月31日（日）まちかどギャラリーにて行われたしんじょう君展で、NPO法人四国自然史科学研究所の谷地森先生を講師にお迎えし、ニホンカワウソについての講義が開かれました。

「須崎市がどうしてカワウソのまちづくりをしているかというと、昭和54年に新莊川でニホンカワウソが目撃されて以来例がなく、平成24年絶滅種指定され、最後にニホンカワウソが確認されたまちとなっているから。」

また「川でカワウソを見かけたかもしれない時々話があるが、ニホンカワウソは大人で1m40cmくらいあり、「何か動いたかも!」程度ではない。はっきりと目に見えて存在するサイズ。見間違っただのは、川に食べ物を探しに来たイタチの仲間なことがほとんど。」

そのほかに、ニホンカワウソの頭蓋骨の模型をもとに、「しんじょう君のように顔が真ん丸ではないです」など写真紹介をまじえ、分かりやすくカワウソの生態や自然環境について話がありました。

津波防災ひろめ隊 2015-2016



安倍総理大臣、河野防災大臣とポーズ。



ひろめ隊メンバー就任

内閣府による、津波対策への理解と関心を深めてもらう取り組みの一環として、「津波防災ひろめ隊」が9月に結成され、しんじょう君がコアメンバーに任命されました。今後津波を中心に、地域住民等の防災意識の向上に取り組んでいきます。

写真の「津波避難のポーズ」は、両手を大きく振って「全力で避難する」動作と、上を見上げ上体を反り返らす「高いところを目指す」動作を融合したものです。

奥四万十博開催！

須崎市を含む高幡広域5市町では、4月10日(日)〜12月25日(日)の期間、奥四万十地域の豊かな自然や文化を全国に発信し、地域の良さを知ってもらう旅のキャンペーンを開催します。

須崎市では、横浪三島の絶景を満喫できる「シーカヤック」や、匠に技術を学びオリジナル包丁を作れる「土佐打ち刃物作り」などの体験メニューを用意しております。

「しんじょう」大集合！

4月10日(日)にマルナカ須崎店(須崎市神田2500-1)で行われる奥四万十博オープニングイベントでは約20体の「しんじょう」が集合するステージがあり、他にも奥四万十博テーマソングライブ、多数のグルメ出店もあります。

しんじょう君からは「みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。」

詳しくはこちら

奥四万十博ホームページ

<http://okushimanto.jp/index.php>

奥四万十博ブログ

<http://okushimanto.jp/blog/>



しんじょう君は奥四万十博公式ナビゲーターを務めています。